

6月は「いじめ根絶強化月間」です。学校では『いじめをみんなでなくしていこう～その言葉や行動で友達がどう感じるか考えよう～』をテーマに、下記のような取り組みを行いながら、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努めています。

1 いじめ根絶強化月間における本校での取り組み



1 いじめのサインを見逃さない ～早期発見・早期対応～

- ① 「きずなアンケート」の実施
- ② 教職員全体で、授業や休み時間等での子どもの見守りを行う、相談しやすい環境づくり
- ③ いじめの迅速な初期対応に向けた体制の見直し
- ④ 教職員の人権感覚といじめ根絶に対する認識を高める研修の実施

2 いじめが起こりにくい集団をつくる ～未然防止～

- ① 学校朝会での校長講話
- ② 「いじめをゆるさない」「心温まる雰囲気をつくる」等の心情を育てる授業の実施
- ③ 学校ホームページへの「いじめ防止基本方針」及び「いじめ・問題行動等発生時の対応」の掲載。
- ④ お互いを知り、子ども同士の絆を深める「託東タイム」の実施

3 いじめを許さない環境をつくる ～家庭・地域・関係機関等との連携～

- ① スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用と相談しやすい体制づくり
- ② 生徒指導便りなどでの、いじめ根絶に関する啓発と取組の紹介
- ③ 犯罪行為、あるいはその疑いがあると認められるようないじめに対する警察等との連携体制づくり

2 なやんだときは、大人の人に相談しよう (SOS の出し方)

今月の学校朝会では、生徒指導主任から「悩んだり困ったりしたときの対処法」(SOS の出し方) についての話をしました。内容は「1 不安やなやみ、ストレスって?」、「2 なやんだときはどうすればいいのだろう?」の2つです。

不安やなやみ、ストレスはよりよい自分になりたいと思っているからこそ生まれるもので、それ自体は悪いものではなく、場合によっては自分を高めるエネルギーにもなることを話しました。しかし、強い不安や大きな悩み・ストレスなどは心身の健康を損なうこともあるため、それらを適切に対処していく必要があること、悩んだときは信頼できる大人に相談してほしいことを伝えました。

子どもたちは様々な不安や悩みを抱え、それを乗り越えながらたくましく成長していきます。教師や親は、子どもたちにとって最も身近にいる信頼できる大人です。悩んだときはいつでも聞いてあげ、どうすればいいか一緒に考えてあげられる存在でありたいものです。

6月は

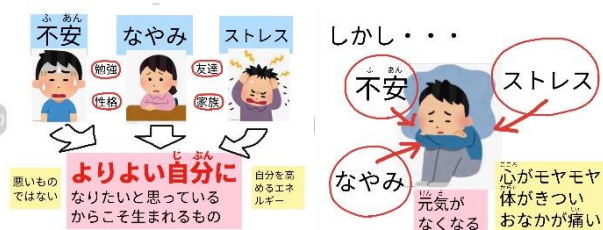
いじめ根絶強化月間

いじめのない学校
人を大切にできる学校

今日のおはなし

1. 不安やなやみ、
ストレスって?

2. なやんだときは、
どうすればいいのだろう?



悩んだときの解決方法(例)

- おいしいものを食べる
- 好きな音楽をさく
- 体を動かす(あそぶ)

1人で解決しないときは、

ひと 一人
おとなの人に相談

